

もりかわ通信

平成25年度 第9号 11月12日 発行
岩手河川国道事務所
盛岡出張所
〒020-0862
盛岡市東仙北一丁目11-11
TEL 019-636-0444
FAX 019-636-1047

油流出事故に気をつけましょう!

一般家庭のホームタンクや事業所のタンクから灯油などの油類が漏れ出し、河川などに流出する事故が増えています。その多くは、管理不備やうっかりミスが原因です。

きれいな川を守ろう
油漏れを防ぐための心掛け

その場を離れない
目を離さない
ホームタンクなどから灯油を小分けする時は絶対にその場を離れない。

定期点検を
怠らない
配管やホームタンクの定期点検に努めましょう。

屋根からの
落雪や
除雪時に注意
屋根からの落雪や除雪作業で、ホームタンクや給油管が破損していないか注意しましょう。

配管の場所
には目印を
配管の破損を防ぐために雪囲いをしたり、配管の場所が雪でわからなくならないように目印を立てておきましょう。

回収・処理に要した
費用は **原因者** の
負担となります!

初雪も降り、朝晩の寒さが身にしみる季節になりました。暖房機具も活躍するようになりませんが、これにともない増えるのが、川への油流出事故です。川の水は、飲み水・工業用水・田や畑に使われています。そこで、油などが流出する事故が発生した場合、水を使えなくなったり、生態系に影響するなど重大な被害へと発展します。また、その処理には大きな労力と費用を必要としますので、利用の際には十分な注意をお願いいたします。

もしも、
油流出を発見したら…

消防署・警察署・市町村
または県の機関へ連絡を!

北上川水系水質汚濁対策連絡協議会 上流支局
岩手河川国道事務所 河川管理課 019-624-3131

鮭と男と中津川

陽が傾きかけた10月の午後、ヘルメットを被った一人の男が河川敷の大きな水たまりから、せせと何かを網で運んでいる姿があった。男の真剣な姿に遊歩道を歩く人々が足を止める。市街地盛岡の中心を流れる中津川のほとりには、だんだんと人が集まり始めていた。

一人が声をかける。「何をしているのですか?」「※わ”鮭をはこんでいます。」男はさらにこう続けた。「こないだの大雨で、この水たまりに鮭が流れできたはんで。」

ようするに川の水は引けたが水たまりとなってしまった場所に、鮭が6匹も取り残されてしまったので、自分が川に運んでいるということだ。思えば鮭にとっても「じゃじゃじゃ!」なハプニングだったであろう。「川ってこんなに浅かったっけ?」などと6匹でいぶかしげに会話していたかもしれない。

なにはともあれ鮭は救出され、広い中津川を再び元気に泳いでいった。ある10月の救出劇であった。(※わ→私)



鮭はこの大きな水たまりにいました。
←中津川はこちら側を流れています。



鮭を運ぶ盛岡出張所職員



運んできた鮭を、中津川にそっと放します。